

# Teddy Bear

居心地のいい場所づくり  
子育て中のお母さんと子どもたちに

子どもと一緒に英語に触れながら育児の悩みも気軽に相談し、仲間と一緒に過ごせる時間を作りたい。そんな思いを叶える団体取材しました。

## 英語を通じて仲間と楽しく

TeddyBearは、地域の親子が集まって英語と外国の文化に触れながら「みんなで楽しい育児」をモットーに2007年12月から活動しているサークル団体です。5、6組の未就園児親子から始まったサークルは口コミや地域での声掛けによって広がり、現在は外国人スタッフ1名と日本人スタッフ2名が率いる24組の親子が平日の日中、月3回、市立まちづくりセンターで楽しく活動を行ってられます。

「来てくださる親子に毎回楽しく過ごせてもらえたら嬉しいです。お子さんの成長を保護者さんと共感できることが活力につながります。」そう話す代表の大東さんにお話を伺いました。

## 育児の悩みも相談できる場所

大東さんご自身が英語に興味があり、将来的な英語の必要性を感じて団体の発足当時から2人のお子さんとサークルに参加していたそうです。発足人の諸事情によってサークル運営が出来なくなることを受け、大東さんが代表を引き継いで今年で5年目となります。活動に使う教材は全てスタッフや参加して下さる方のアイデアから作り上げられた愛情のこもったものに加え、参加して下さるお子さんは0～4歳と幅広い年齢層のため、どの年代のお子さんをお持ちの方でも楽しむことのできる毎月のテーマに沿った歌、手遊び、ゲーム、工作などをレッスンに取り入れています。

「草津市は転入率が多く、友だち作りのきっかけのためサークルに参加する親子が多くいます。ここは、英語に触れる場だけではなく、保護者の方々の情報交換の場でもあります。」と話す大東さんは、お子さんの年齢に関係なく楽しめる活動内容を提供しながら、育児の悩みを持つ保護者の気持ちに寄り添い、保育士の立場から専門的なアドバイスをすることで少しでも参加者が育児を楽しめるように努力されています。

活動分野 子ども

スタッフ数 3名

団体設立 2007年12月

団体ホームページ

只今作成中です。

## 地域に見守られながら

親子の交流の場でありながら、学校の教科書にはない生きた英語と外国の文化に触れることのできるサークルですが、会員数が減少傾向にあることが今の課題だそうです。幼稚園のこども園への移行や保育園の新設などでお子さんを幼稚園入園までお家でみる保護者の方が減少していることが要因の一つと考えているそうです。そんな中、お子さんの体調不良等の理由で普段の活動に参加できない場合の柔軟な対応や、メールやLINE@でのこまめな情報発信を行うことで、現在通ってくださっている親子が参加を継続しやすいように工夫されています。

ハロウィンやクリスマス等の季節のイベントには会員が友人を招くことができ、毎年大変盛り上がるそうです。「みんなで一緒に作っていくサークルのため、これからも色々な希望を取り入れ、より充実したサークルにしたいと思っています。」と大東さんは話します。ひとりの力だけでは出来ることが限られていますが、一つの目標に向かって仲間が手をとり合って力を合わせると、できることの幅が広がることを確信されています。サークルに通う親子にとって、楽しい雰囲気づくり、そして将来を担う子どもたちが小さい時から外国の方や英語に触れることのできる国際的な場を心がけているそうです。

## 多文化共生を目指して

今後のサークル運営について伺うと、「育児サークルは社会との接点です。外国籍の親子にもサークルに参加していただき、異国の地での交流を楽しんでいただきたいです。」と夢を語られました。草津市には、大学や多くの工場があるため、外国人が集まりやすい場所でもあります。家にこもりがちな外国籍の親子にサークルに参加していただくことで、交流の輪を広げるきっかけになってくれることを望んでいるそうです。

また、先日国会で成立した改正出入国管理法による外国人の受入の拡大はこれからの草津にも影響を与えることが予想されます。幼いころから多文化に触れることで現代のグローバル社会に必要とされる国際感覚が養われる心地よい居場所の発展を今後も応援しています。

## 取材＊メモ



大東さんはサークルの代表を引き継いだ後、様々な親子と関わる中で、育児の悩みを持つ保護者さんの気持ちを少しでも楽にしたいという思いから保育士の資格を取得されたそうです。先輩お母さんとして、経験上の話やアドバイスはできても、真剣に悩んでいる保護者さんたちに専門的な知識を提供し、安心させたい思いが強くあったことが伺えます。サークルに携わることで交流の輪を広げ、自らの能力も磨き上げる情熱的な大東さんが印象的でした。



▲アルファベットの色塗り



▲外国人スタッフによる読み聞かせタイム



▲フォニックスの歌に合わせてアルファベットの指さし活動



▲アルファベット体操